

石狩市公立小中学校事務職員第61回学校間連携会議議案

2015年3月6日(金) 14:00～(市事協研修会終了後)

於：石狩市役所402号室

1 議長挨拶

2 報告事項

2月20日(金) 第60回連携会議

2月24日(火) 予算要望委員会

3月6日(金) 冬季研：議案・記録・資料 HPアップ

3 協議題

(1) 2014年度版「石狩市の学校間連携」について ～ 別冊

製本について

①本日の論議による修正部分を含め、後日確定ファイルをメールで送信します。

②製本は、各学校で必要部数を作成します。

③綴じ方は左綴じホチキス止めとします。

配付先と配付方法等

①教育委員会 ----- 製本を事務局から配付(面談にて)

②各校長 ----- 各学校で印刷製本し配付

③学校支援推進委員 ----- 各学校で印刷製本し配付

(学校支援推進委員については校長の許可を得てください)

かがみ例文は、本議案の最後にあります。

(2) 2014年度事務局反省について

～ 別紙1

4 実践交流

5 連絡事項

<別紙1>2014年度事務局反省(案)について

本日提案した内容について別途意見聴取し、2015年度計画の際に見解を付して提案します。

2014年度事務局反省(案)

1. 会議の開催状況

これまでのスタイルを踏襲し、市事協研修会に合わせて11回の開催。出席者が少ない日もあったが、概ね順調に開催できた。現状ではこれより多くすることは困難で、年間のスケジュールを考えると少なくすることの影響も大きいと考えられるため、次年度も10回程度で計画したい。

2. 白書(学校財政と学校事務の状況調査)と提言

調査活動について

調査活動について、今年度はまず「学校徴収金実態調査」を昨年度に引き続き調査を行った。昨年度の調査との相違点として徴収金決定時における事務職員の関わりについての調査項目を増やし調査を行いました。保護者負担軽減の観点からも事務職員が積極的に徴収金決定のイニシアチブをとりながら進めていけるように交流を行いました。

あわせまして夏季研時に「学校徴収金未納調査」を行いました。各校の未納状況を交流し現状を把握することが出来ました。そこから発展し冬季研において「徴収金案内文書および督促状の交流」を行いました。各校で配布する文書を交流し各校が配布するタイミングや各文書の工夫しているポイントなどを交流しました。徴収金の未納については各校とも苦慮している現状が確認されているので、今後も交流を続けていければと考える。

学校徴収金実態調査の中などから、授業で扱う時間が2時間程度など使用する時間が非常に短時間である教材について学校備えつけとしてどうかとの意見があり「学校備えつけの教材教具」の調査を現在、継続して調査を行っています。次年度以降に向け市教委への要望や教員調査などを含めて調査を継続し新しい提言を行えるように進めていきます。

学校配分予算について市教委へ増額を要望していましたが、なかなか増額が難しい現状の中で「学校配分予算の見直し」を第57回の連携会議で提起させていただき「学校配分予算の調整について」を協議会事務局と連携しながら市教委へ要望することが出来たことは成果と考える。

提言について

上記の通り、「学校配分予算の調整について」を提言16として提言をさせていただきました。今年度の提言は1項目となったが、内容の濃い提言となった。

3. 予算要望

ブラスバンド楽器に係る要望について(楽器整備計五カ年画)

今年度の予算要望内容に数年前からの懸案事項であった「楽器購入五カ年計画」を要望書に追加することが出来ました。ブラスバンドに関する予算確保がなかなか難しい中、「ブラスバンド楽器に係る要望について」として新しい項目を追加し「実現に向けて取り組めたことは成果と考える。

また、冬季研において今年度初めて予算要望部で予算要望資料としてまとめた印刷経費のグラフ化について交流を行った。今年度は要望書への掲載は見送りましたが改良を加えながら次年度は掲載に向けて取り組んでいきたい。

役務費に係る調査について

5年前に各学校のカーテンクリーニングの状況を調査し、また本年度はその後の5年間について調査しました。その結果、現状はほとんど変わりがなくクリーニングを行っていない学校が多い現状が確認されました。今後も継続して役務費の増額や窓ふきのようなローテーションもしくはカーテンの更新を要望していきたい。

4. 実践交流

「2」で既述したが、「学校徴収金実態調査」や「学校徴収金未納調査」のとりくみについて夏季・冬季研修会の時間を活用しながら管内の他市町村も含めた交流ができたことは意義深かった。その反面、定例連携会議での実践交流については、時間の確保の問題もあり十分に実施できていないため、工夫が必要である。夏季・冬季研修会を実践交流の場として活用することについてさらにすすめていきたい。

5. その他

例年以上に協議会の事務局とうまく連携しながら業務を進める事が出来ている。しかし、反面として連携会議と協議会の境が見えづらくなっているのも事実である。今後、規約を含めて整理していければと考える。

今年度は一つの提言の発表になりましたが、次年度以降は提言を見据えた活動が行えるように事務局運営を行っていきたい。

これまでの積み上げを活かして、各グループが自主的に活動と提起を行ってもらうこと、事務局がその調整を上手く図ることを念頭に事務局運営を行っていきたい。

※次頁の意見集約用紙を年度内に事務局（樽川中学校）に提出してください。

2014年の学校間連携活動反省意見集約用紙（年度内に事務局に提出）

1. 事務局による調査の負担度合いはどうでしたか。
かなり負担であった。 やや負担、あるいは内容によっては負担だった。
それほど負担ではなかった。

2. 具体的に、どのような調査が負担でしたか。（できれば理由も）

3. 2014年のとりくみで、成果を感じられた事項は何でしたか。（できれば理由も）

4. 2014年のとりくみで、あまり成果を感じられなかった事項は何ですか。（できれば理由も）

5. 来年度、更に力を入れるべき事項や新しくとりくむべき事項はありますか。（できれば理由も）

6. 来年度、廃止または縮小すべきとりくみはありますか。（できれば理由も）

7. その他、一年間の活動で気づいた点などありましたら、自由に記入してください。

【学校名

】年度内に事務局（樽川中へ提出。可能な限りメールで・・・）

平成 年 月 日

様

石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議
議長 三 上 正 一
(石狩市立石狩中学校事務職員)

2014年度版「石狩市の学校間連携」の配付について

小中学校の入学式も終了し、一段と春陽の増す今日この頃ですが、貴職におかれましては石狩市の教育推進にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さてこの度、当会議におきましては、昨年度一年間の活動をまとめた「2014年度 石狩市の学校間連携」を作成いたしました。この間の関係各位のご協力に厚く御礼申し上げます。

つきましては別添の通り配付をいたしますので、ご査収くださいますとともに、ご意見等ございましたら事務局までお寄せいただきますようお願いいたします。

今後とも、「学校間連携会議」に対するご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。